

私たちは、いま議会改革に取り組んでいます

【表1】平成30年度補正予算(2月)

会計別	補正前の額	補正額	予算総額
一般会計(第2回)	101,676,862	2,460,880	104,137,742
国民健康保険特別会計(第2回)	20,639,549	△134,411	20,505,138
介護保険特別会計(第2回)	16,031,759	△446,403	15,585,356
後期高齢者医療特別会計(第2回)	5,213,454	△81,586	5,131,868
合計	143,561,624	1,798,480	145,360,104

【表2】平成31年度当初予算

会計別	予算総額
一般会計	102,276,000
国民健康保険特別会計	19,578,000
介護保険特別会計	15,680,000
後期高齢者医療特別会計	5,141,000
合計	142,675,000

2月定例議会

議会期間 2月8日から3月14日までの35日間
 本会議第1日(2月8日)
 *区長から区政運営について施政方針が述べられました。
 *議員提出の8議案、区長提

平成31年度予算決まる

今定例議会では、予算審査特別委員会を設置し、平成31年度当初予算案の審議を行い、一般会計などの4会計総額千46億円の予算が成立したのを始め、条例改正、補正予算など区長提出の合計18議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

また、議員提出の意見書1件及び委員会提出の意見書1件を可決しました。

なお、議案に対する議決結果と各会派の賛否を2面に掲載しています。

審議した主な案件(要旨)

区長提出案件

◎平成30年度文京区一般会計補正予算
 白山一丁目の土地に係る用地取得に要する経費、私立保育園運営補助及び児童の保育委託に要する経費、保育所等ICT化推進事業及び児童の安全対策強化事業に要する経費など、総額約24億円の予算を追加するものです。

◎文京区精神障害者福祉手当条例の一部を改正する条例
 精神障害者福祉手当の月額を5千円から1万円に改定するものです。

※全ての議案は、2面に掲載しています。

出の13議案及び請願11件の審査を、それぞれ所管委員会に付託しました。

*18人の委員をもって構成する予算審査特別委員会を設置し、区長提出の平成31年度各会計の当初予算4議案の審査を付託しました。

本会議第2日(2月12日)
 *代表質問(未来、日本共産党、公明党……3面掲載)

本会議第3日(2月13日)
 *代表質問(永久の会、自民党、市民の広場……3面掲載)
 2月14日(2月27日)
 *特別委員会、常任委員会等が開催され、議案等を審査しました。……(4面掲載)

本会議第4日(3月1日)
 *区長提出の13議案を付託委員会の決定どおり可決しました。
 3月4日(3月12日)
 *予算審査特別委員会、平成31年度当初予算4議案を審査しました。……(2面掲載)

本会議第5日(3月14日)
 *議員提出の意見書1件を可決しました。
 *委員会提出の意見書1件を可決しました。

審議した案件

区長提出案件

- 条例……9件(可決)
 - 事件……1件(可決)
 - 予算……8件(可決)
- 議員提出案件
 - 条例……8件(否決)
 - 意見書……1件(可決)
 - 委員会提出案件
 - 意見書……1件(可決)
- 請願……13件(採択6件)
 - (13件の内訳は、今定例議会付託分11件、継続審査分2件)

1項(総務区民)
 ○選択的夫婦別姓制度について国会審議を求める意見書を国に提出することを要望する請願(総務区民)

1項・2項(厚生)
 ○国に対して医師・看護師・医療技術者・介護職などの夜勤交替制労働における労働環境を改善する意見書を提出して頂きたい件に関する請願

2項(総務区民)
 ○消費税率10%への増税中止を求める請願(総務区民)

○特別養護老人ホーム等高齢者施設及び住まいの確保に関わる請願

○区立図書館の蔵書に関する請願(文教)

○同性カップルのパートナーシップを公的に認証する制度の導入に関する請願

○場外馬券売り場(後楽園オフト)の撤去を求める請願(総務区民)

○区立図書館の蔵書に関する請願(文教)

○同性カップルのパートナーシップを公的に認証する制度の導入に関する請願

○消費税率10%への増税中止を求める請願(総務区民)

○特別養護老人ホーム等高齢者施設及び住まいの確保に関わる請願

○区立図書館の蔵書に関する請願(文教)

4月21日(日)

文京区議会議員選挙

文京区長選挙

4月21日(日)は、文京区議会議員選挙・文京区長選挙の投票日です。区民の暮らしに最も身近な代表者を選ぶ選挙です。皆様の意見を区政に反映させるため、そつて投票においでください。

◎選挙管理委員会事務局 ☎(5803)1287

平成30年度 委員会視察

総務区民委員会(2月20日)
 ○岩手県盛岡市
 「自治体間交流に関する調査・研究」



▲石川啄木記念館に隣接する旧沢民尋常小学校にて

※委員会視察報告の詳細は、区議会ホームページで公開しています。

議員提出案件

可決した意見書 1件

○食品ロス削減に向けた更なる取組の推進を求める意見書
 内閣総理大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、環境大臣、内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全)、衆議院議長、参議院議長宛て

委員会提出案件

可決した意見書 1件

◎選択的夫婦別姓制度について国会審議を求める意見書
 内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、衆議院議長、参議院議長宛て

予算審査特別委員会報告(要旨)

平成31年度当初予算案を審議するため、2月8日の本会議で18人の委員をもって構成された予算審査特別委員会は、委員長に白石英行委員(自民党)、副委員長に渡辺智子委員(公明党)を選出し、3月4日から12日まで審査を行い、一般会計を始めとする4予算案をいずれも原案どおり可決すべきものと決定しました。

審査に際し、一般会計の修正案が日本共産党から提出されましたが、審査の結果、否決されました。

また、未来から一般会計に対する付帯決議案が提出されましたが、審査の結果、否決されました。

○総括質疑
問 31年度予算の特徴は。
答 歳出は、児童の保育委託の増等による扶助費の12.6%増、小学校への児童用タブレットの整備等による物件費の16.6%増等により、約56億円、5.8%の増となった。

歳入は、特別区税が2.6%増、国庫支出金が9.1%増となった。これらにより、31年度当初予算は、初めて一千億円を超え、過去最大の規模となった。推移としては、特別区税が納税義務者の増、所得水準の伸び等により増加し、扶助費が社会保障関係経費の増等で7年連続の増、投資的経費は6年連続で100億円を超える状況が続いている。

○一般会計―歳入(意見・要望)
①幼稚園保育料に関連して、幼児教育・保育の無償化に当たっては、特別区長会等を通じ、32年度以降も無償化に係る財源は全額国が負担することを要望していくこと。

②子ども宅食プロジェクト寄付金に関連して、この事業を通じ、関係する各家庭との関係性を大切に、緊急を要する事情が明らかになった際には適切に対応すること。

○一般会計―歳出(意見・要望)
①施設予約システムについては、新たに21施設の予約が可能となることを広く周知し、利用者の立場に立ったシステムとなるよう努めること。

②国内交流事業に関連して、友好都市提携を行った盛岡市との交流事業については、両区市が有する文化的な特徴や共通点を生かした事業を企画していくこと。

③経営相談について、中小企業支援員による事業者への寄り添ったアドバイスを行い、成果を重視した支援を行うことで、区内の中小企業の持続的な発展につなげていくこと。

④介護人材確保・啓発事業については、新規人材確保に向けた施策の実施とともに、離職防止に向けた施策を併せて行うことで、介護人材不足の解消を図ること。

⑤母子保健システムに関連して、今後、災害時における手帳の不携帯や紛失、予防接種の受診歴等の確認にも役立つことから、母子健康手帳の電子化についても検討すること。

⑥自転車シェアリング事業の実験については、民間施設も活用しながら、サイクルポートの拡充を図ること。また、自転車のマナー等についても周知していくこと。

⑦中学校部活動関係経費に関連して、今後、様々な機関と連携し、専門性が高い部活動指導員等を確保することで、部活動の充実を図るとともに、学校における働き方改革を推進していくこと。

○国民健康保険特別会計
○介護保険特別会計
○後期高齢者医療特別会計

予算に対する各会派の態度(要旨)

自民党

様々な世代が暮らしやすい活力満ちた文京区を実現するために、歳出の適正な抑制と安定的な財政基盤を構築し、我が会派が委員会等で提案したサービス向上を図ったものと評価する。「フレイル」予防や特養ホームの増設などの高齢者施策、待機児対策や幼児教育無償化へ向けた準備などの子育て支援、带状疱疹ワクチン接種助成などの健康推進、ICTを活用した業務の効率化、活力ある産業・商店街支援策、東京2020大会に向けての気運醸成と文京区の魅力発信、そして避難所における備蓄物資の充実など災害に強い安心安全なまちづくりをし、地方分権が前進するよう要望する。以上の意見を付し、自民党は4会計予算に賛成する。

公明党

31年度の一般会計は千22億円の過去最大規模の予算となりました。そのような中、第3期基本構想実施計画の最終年度として、我が会派が日頃より要望している事業が多く盛り込まれた事を高く評価し、適切な予算編成をされたものと思います。今後も区民ニーズにあつた施策の展開を期待するものです。予算審査の過程で指摘した我が会派の提案意見は十分に検討の上、実現を図られるよう要望し、4会計予算に賛成いたします。

未来

税収が好調な今のこの時期に新たな財政出動をし、学校給食の無償化など必要な区民サービスに充てるべき。液体ミルクの備蓄と配布についてはWHOコードの遵守を。特別支援学級については、根津・千駄木地区など必要とされる地域への早急な設置を要望する。B1ぐるの路線拡大や公衆無線LANの拡充、春日・後楽園駅前再開発事業の公益性の確保を一層進めると。同性パートナーシップへの対応を期待する。不登校の子どもについては十分な学習の機会を保障すること。以上意見を付し4会計に賛成する。

日本共産党

政府が消費税増税と改憲へ暴走する中、福祉増進を貫き史上最高679億円の基金活用で待機児解消や特養・公営住宅増設し、育成室・幼稚園等の負担増は値上げ前に戻せ。液体

永久の会

時代がどんなに進化しようとも、どんなに変化しようとも決して忘れてはならないことがあります。原点に立ち返り、親や先祖を敬い家族を愛し、歴史と伝統と文化を後世に継承し、夢と希望あふれる文京を創造し、最大の予算を計上した成澤区長の榮譽を称え、愛と勇気の結束を誇る永久の会は、平成31年度全会計予算に賛成いたします。

市民の広場

液体ミルク備蓄、配偶者暴力支援センター設置、終末を迎えるための支援、保育所持機児解消は評価。基金の使途や積立額の明確化、コンソシアムの検証は不十分。一般

国民健康保険特別会計

後期高齢者医療特別会計

平成31年2月定例議会 議案に対する議決結果と各会派の賛否

Table with columns for 議案番号, 件名, 賛成, 反対, 結果. Includes sections for 区長提出議案, 議員提出議案, 委員会提出議案.

会派の略称：自…自由民主党文京区議団、未…ふんきょう未来、共…日本共産党文京区議会議員団、公…公明党文京区議団、永…文京永久の会、市…市民の広場・文京、ま…みんなの・まちづくり ※1 反対1人

QR codes and links for council information, including 'Right QR code from each home page', 'Council representative Q&A internet', 'Council decision results', and 'Request decision results'.

代表質問(要旨)



未 来
松 下 純 子

線り返済について
問 区債について、無駄な利子の支払いをやめて、線り返済の検討をすべき、伺う。

また、2月補正で決算剰金約53億円も基金に積み上げる財政状況の中で、来年度、新たに12億円の借金をすべきではない。区の見解を伺う。

区長 線り返済については、課題もあり、実績はないが、他自治体の例を参考にし、更に研究していく。

また、起債は、過度に依存しない範囲で活用を図っていく。

高齢者紙おむつ支給事業にチケット制の選択肢を

問 心身障害者・児紙おむつ支給事業のように店頭でおむつを購入できるチケット制も取り入れてはどうか。

また、利便性を考えてネット注文の導入も考えるべき。

区長 本事業は、製品が一定に限られるため、スケールメリットを生かした安定供給や一括配送で利便性を高めている。

また、利用者が在庫を調整できるよう、一時中断、隔月配送の実施等、柔軟に対応しており、チケット制の導入、ネット注文への対応は考えていない。

緊急輸送道路の無電柱化
問 言問通りに続く区道892号は、緊急輸送道路を東西に結ぶ大切な道路で緊急な事業開始の必要性を感じる。無電柱化推進計画におけるパブリックコメントの8割が、この892号沿いの地域から上がっており、地域の理解が得られる場

所と言える。区の見解を伺う。
区長 無電柱化を行う路線は、区政における最重要課題の優先順位を判断する中で、選定していくとともに、計画策定の際のパブリックコメントについては、今後の路線選定を行う際の参考とする。

質問の掲載は、本会議での質問会派順です。

たが、その実施を求め、伺う。
区長 受益者負担の適正化は、受益者に適正な金額を負担していただくものであり、改定前金額に戻す考えはない。

また、様々な子育て事業を展開しているため、医療費助成の対象を18歳まで拡大することは考えていない。

教育長 要保護・準要保護世帯、ひとり親家庭や特別支援学級の児童・生徒の保護者については、給食費は無償となっており、一定程度負担軽減なされているものと考えている。

湯島・大塚坂下・千石方面に「Bーぐる」新路線を
問 来年度予算案では、約2千700万円増となっているが、新路線や運行間隔、逆回り等も含め、どう具体化するのか。

区長 「Bーぐる」課題等分析委託報告書で整理された課題に対する方向性が定まり次第、詳細なニーズ調査を行い、具体化に向け取り組んでいく。

待機児童解消と併せて保育の「質」の向上を求めて
問 私立認可保育所等の指導検査における指摘項目についての改善状況について伺う。

また、未調査60件の指導検査を31年度中に一気に実施するとともに、全園での指導検査体制をとるべき、伺う。

区長 改善状況報告書等による報告を受け、30年度内に全て適切に改善される見込み。また、来年度、専任の担当を新たに設け、全園を対象に実施している巡回指導と合わせ指導体制の強化を図っていく。

学校給食の無料化などに679億円の基金の活用を
問 豊かな財政を活用し、受益者負担の適正化による値上げを戻すこと、小中学校の学校給食の無償化、18歳までの医療費無料化の条例提案をし

がん対策について
問 乳がん検診の無料化とがん対策について、今まで以上に新しく工夫したこと、今後の目標を伺う。

区長 来年度、乳がん検診の無料化、肺がん検診の開始により、国の指針に定める5つのがん検診を無料で実施する。更に、精密検査結果を追跡調査し、がん検診の精度を高めるよう工夫する取組を進め、検診の受診率を向上させていく。



軽度認知障害(MCI)の早期発見について
問 認知症の予防対策の手段として、「あたまたの健康チェック」を導入し、活用すべきと考えるが、いかがか。

※軽度認知障害(MCI) 認知症の前段階で、軽い記憶障害などはあっても基本的な日常生活は送れている状態。
区長 講演会等を通じ、認知症や予防に関する普及啓発を行っている。あたまたの健康チェックは、今後の認知症予防施策の研究課題としていく。

高齢者見守りキーホルダーについて
問 高齢者が外出先で倒れたり、道に迷って保護された時に役立つ高齢者見守りキーホルダーを提案する。

区長 高齢者が事故などに遭った場合、迅速に身元を確認し、適切な対応につなげることは、重要であると認識しており、その手法を検討していく。

祖父手帳について
問 祖父の育児参加に役立つ、いつまでも子育て支援の参考として使える「祖父手帳」の作成を提案する。

区長 21年度から「ぶんきょう初孫講座」を開催しており、講座の内容を広く周知できるように検討していく。

手話言語条例の制定を
問 全国の自治体で手話に関する条例が次々と制定され、区議会でも意見書を提出している流れを踏まえ、条例制定に向け、今後どのように対応していくのか伺う。

区長 全国手話言語市区長会には本区も参加しており、国による法制化を求めるとともに、条例制定について、他自治体の動向等を注視していく。

コミュニティ助成制度について
問 この制度は限られた予算であり、御神輿の修復を予定している全町会に行き届くには時間とお金がかかる。今後予算の拡大や手続きの簡略化など、制度の拡充を求める。

区長 申請書類の作成方法等の資料を作成し、全ての町会・自治会に配布し、申請者の負担軽減につながる取組を行っている。今後とも分かりやすい案内に努めていく。

公園再整備計画について
問 神明都電車庫跡公園整備について、都電と水辺が最大限生かされ、地域に愛され賑わう公園に整備されることを期待し、現在の計画を伺う。

区長 公園の再整備については、今後の意見交換会を踏まえ、園内の都電については、都電の歴史に触れる場としての整備も検討していく。

防災資器材格納庫について
問 防災資器材を保管する場所の確保に苦慮している町会も少なくない。保管場所の確保について区の見解を伺う。

区長 格納庫の設置場所は、区民防災組織が私有地に確保することを原則としているが、私有地に確保できない場合、協議の上、区有地等の設置可能な場所に設置している。

高齢者クラブ支援について
問 「文京区高齢者クラブ加入促進強化事業助成」について、5年間の取組を評価・検証し、引き続き助成の検討を。区長 会員数について、助成により増加に転じた年もあり、成果があったと認識している。



都電の再生と有効活用
問 神明都電車庫跡公園について、特徴ある公園をどのように生かし、再整備案を作るのか。特に、都電の再生と有効活用について具体案を伺う。

区長 公園の再整備については、今後の意見交換会を踏まえ、園内の都電については、都電の歴史に触れる場としての整備も検討していく。

町会・自治会のコミュニティ活動支援について
問 掲示板は町会・自治会と区政をつなぐ懸け橋であり、掲示板建て替え等補助金事業は、継続性があつてしかるべき。継続的、数年に一度の補助の検討について区の見解は。

区長 100町会から申請があり、要望に応えることができ、成果を認識している。今後は、「町会・自治会事業補助金」により、引き続き対応していく。

通学路の防犯カメラ設置
問 防犯カメラの設置状況には地域格差が見受けられ、危険箇所と判断された通学路について、区から町会等に対し、設置を働き掛けることは、その是正策につながると考える。

区長 通学路緊急合同点検の結果を情報提供し、防犯カメラの設置を推進することにより、安全・安心まちづくり推進地区の指定を促進していく。

日本語指導の強化について
問 区では、外国からの転入学児童・生徒に対する日本語教育が足りていると考えているのか。更なる指導体制を求め、見解を伺う。

教育長 日本語指導協力員を派遣し、必要に応じ、派遣期間延長など、子どもの実態や習熟に応じた指導を実施している。今後も、各学校の状況を把握し、教材や指導方法等の更なる充実に努めていく。

外国人相談窓口について
問 今後、外国人労働者が増えてくる事態に、各法人任せではなく、区として外国人の人権擁護、生活面での相談等を想定した外国人みんなが相談できる窓口の設置を求める。

区長 行政情報センターの区民相談窓口において、通訳クラウドサービスを活用しながら対応し、必要に応じ、国等が設置する外国人相談窓口を案内している。

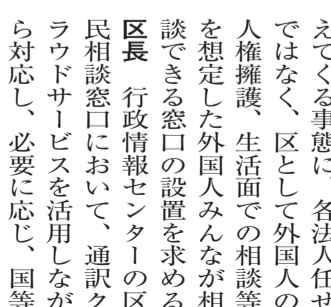
市民の広場
浅田 保雄

毎月勤労統計データ改ざん
問 厚生労働省の毎月勤労統計のデータ改ざんにより、区ではどのような影響が出るのか、どのような修正が必要か。

区長 区の施策や予算編成に大きな影響はない。なお、雇用保険等への影響については、国による対応が進められており、その動向を注視していく。

公契約条例について
問 公共工事設計労務単価に基づき、業者に支払われる賃金と労働者に支払われる賃金に大きな差が生じている現実を区は把握しているのか、その原因の分析をしているのか。

区長 賃金については、請負業者と労働者の雇用関係の中で、最低賃金法等により適正に確保されているものと承知している。



会派の正式名称
未来…ぶんきょう未来、日本共産党…日本共産党文京区議会議員団、公明党…公明党文京区議団、永久の会…文京永久の会、自民党…自由民主党文京区議団、市民の広場…市民の広場・文京

委員会活動

常任委員会

2月定例会議の議会期間のほか、1月25日に総務区民委員会を開催しました。

総務区民

1月25日 報告事項1件
2月26日・27日 報告事項9件
報告に対する主な意見等

旧元町小学校及び元町公園については、公募により活用方法の提案を募り、プロポーザル方式により事業者選定を行うこととなった。選定の際は、歴史性の継承や、賑わいと公共機能とのバランスを考慮するとともに、これまでの検討の経緯を踏まえ、地元の方の声も反映されたものとなるよう努めること。

区は、石川啄木を縁として、盛岡市と両都市の発展を目指し、様々な分野を包括する友好都市提携を行った。今後は、教育文化、スポーツ、産業等の交流を促進するとともに、職員同士の派遣による交流等も検討すること。



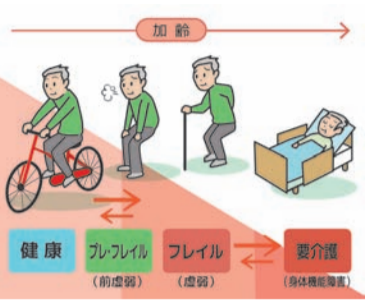
▲友好都市提携調印式の様子(平成31年2月20日)

●配偶者暴力相談支援センターの運営に当たっては、配偶者の暴力が子どもへの虐待等、様々な問題につながる傾向があることから、他部署との連携をしっかりと行いながら対応

厚生

2月22日 報告事項4件
3月14日 報告事項6件
報告に対する主な意見等

文の京フレイル予防プロジェクトの実施に当たっては、フレイル予防に関する情報発信を積極的に行い、高齢者世代を中心に、将来的には幅広い世代にわたって認知されるよう事業を展開していくこと。また、フレイル予防を契機として、大学、医師会・歯科医師会等との協力関係も更に深め、生活援助や医療・介護連携等、文京区版地域包括ケアシステムの深化を図ること。



●『我が事・丸ごと』の地域づくり推進事業の実施に当たっては、多機能な居場所が日常的な相談の場となり、複雑な場合は相談支援包括化推進員を介して円滑に関係機関とつながるよう支援すること。また、お互いの活動に有益な情報共有ができる活動拠点となるよう支援していくこと。●文京区自殺対策計画(素案)については、区の自殺の現状

●は、審査の過程で出された主な意見・要望です。

建設

2月25日 報告事項6件
報告に対する主な意見等

●耐震化促進事業の拡充について、これまで助成の対象とならなかった方を含め、周知啓発をしっかりと行い、木造住宅の除却や建て替えを促進すること、耐震化率の向上を図っていくこと。

●土砂災害警戒区域の指定に伴う整備資金助成事業の拡充について、区報や区ホームページだけでなく、都が実施する区域指定に関する説明会の場を活用するなど、あらゆる手法で周知を図ること、安全対策を促進していくこと。

●文京区生物多様性地域戦略(案)について、区内動植物の定期的な調査を実施し、状況の変化を把握しながら、しっかりと進捗管理を行っていくこと。また、子ども向けに作成した概要版を活用し、啓発すること、子ども達の生物多様性への関心・理解を深めていくこと。

文教

2月21・22日 報告事項14件
報告に対する主な意見等

●学校選択制度について、学校案内誌の内容やレイアウト等は、区立中学校の魅力を増やす方が見て、関心を高めてもらえるよう、各中学校のよさや個性が表れるような更なる工夫、改善を図っていくこと。●文京区立図書館改修に伴う機能向上検討委員会について、小石川図書館の改修においては、様々な規制がある中で、先行事例も含めて、より利用者の視点に立って検討していくこと。

また、現在の図書館の機能もきちんと把握し、地域の情報拠点・地域コミュニティの場として、より一層の機能向上を図れるよう、幅広い議論をしていくこと。●東京都立駒込病院における病児・病後児保育に関連して、待機児童解消に向けた保育園の整備を進める中で、病児・病後児保育に対するニーズも高まっていることから、先に行ったニーズ調査を踏まえ、どのくらいの需要があるのか見極め、また、地域バランスの課題も認識していくこと。

議会運営委員会

1月31日、2月8日・19日、3月1日・14日に開催しました。【主な報告事項】・平成31年度予算案について

特別委員会

自治制度・行財政システム調査

2月14日 報告事項2件
報告に対する主な意見等

●区内の未利用国有地等の利活用は、区が進める様々な分野の施策に大きく影響するものである。現在区では、特別養護老人ホームや認可保育所育成室、清掃事務所及び認定こども園と国施設との合同庁舎、地域活動センター等による利活用を検討している。今後とも引き続き、それぞれの施設の近隣住民への説明を丁寧に行くと同時に、事業の進捗を明らかにしながら進め

上を図れるよう、幅広い議論をしていくこと。●東京都立駒込病院における病児・病後児保育に関連して、待機児童解消に向けた保育園の整備を進める中で、病児・病後児保育に対するニーズも高まっていることから、先に行ったニーズ調査を踏まえ、どのくらいの需要があるのか見極め、また、地域バランスの課題も認識していくこと。

災害対策調査

2月14日 報告事項4件
報告に対する主な意見等

●文京区地域防災計画(平成30年度修正)案に関連して、避難所については町会単位で指定されているが、区民の三割以上が町会に未加入となっている。そのため、区民にとってより分かりやすい避難所の表示や周知方法を、今後検討していくこと。

●通学路のブロック塀等の安全点検調査において、撤去や改修が早期に必要な塀が28か所あった。これらの塀の所有者に対しては、昨年10月から助成制度が拡充したことを丁寧な説明するなど、早期の撤去や改修に向けた周知啓発に努めること。

●土砂災害防止法に基づく基礎調査結果(第2回)においては、小・中学校や福祉施設が土砂災害警戒区域等に含まれている。これらの施設については、今後、避難所の指定や開設に影響が出ることも想定されるため、関係部署が連携を図りながら検討を進めていくこと。

地域振興・まちづくり調査

2月18日 報告事項1件
報告に対する主な意見等

●東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会へ向けた取組のうち、ドイツを相手国としたホストタウンの取組については、ドイツに関連する様々なイベントの実施など、区民がドイツの実施などに触れる機会を増やすこと、ホストタウンとしての気運の醸成を図ること。



●東京2020大会の区独自ボランティアについては、年齢制限により応募することができなかった小・中学生を始め、要件に該当せず大会及び都市ボランティアに応募ができなかった区民の参加を募り、多くの区民が東京2020大会に関わる機会を設けること。また、小・中学生に対しては、本区にゆかりのある嘉納治五郎や金栗四三についての学習など、東京2020大会を通して、様々な学びの機会が得られるよう、教育委員会と連携して、オリンピック・パラリンピック教育に取り組むこと。

地域包括ケアシステム調査

2月18日 報告事項1件
報告に対する主な意見等
●地域包括ケアシステムにおける住まいについて、区は、

文京すまいるプロジェクトを推進している。高齢者等の入居を拒まないすまいる住宅の登録・成約件数を増やすため、来年度から成約謝礼金の対象を、物件を管理する不動産店にも拡充し、併せて住まいの協力店を増やす働き掛けも行う。生活の基盤である住まいは、地域包括ケアシステムを構築する上での前提となるため、居住支援協議会での協議を深め、必要な住まいの確保と本人の希望にかなった住まい方が支援できるよう施策を推進していくこと。



また、高齢者や障害者、ひとり親世帯以外の住宅確保要配慮者についても実態に応じて寄り添った支援を行うこと。●その他の主な意見等
(2)その他の主な意見等
●シルバークラウドに配置されているLSA(ライフサポートアドバイザー)は、居住者の体調等、身の回りの様々な問題を関係機関と連携して対応している。今後も、居住者の状況に応じて面会の頻度を調整し、丁寧な対応を行うこと。

委員会会議録 速報版をチェック!
文京区議会 速報版 検索
会議録の「速報版」を、各委員会開催日から3週間程度で文京区議会ホームページに掲載しています。